

平成25年度入試概要

※3月までの実施予定を記載しています。

森ノ宮医療学園専門学校

約40年にわたって培ってきた臨床の森ノ宮の伝統を受け継ぐ医療人に!

オープンキャンパス | 2012年12月2日(日) 2013年1月13日(日) 2月11日(月祝)

鍼灸学科 [修業年数]3年	午前コース	60名
	昼間コース(医療資格者コース含む)	60名
	夜間コース	60名

取得資格 はり師・きゅう師国家試験受験資格

入試日程

● 社会人・推薦入試・医療資格者入試

試験日	出願期間
2012年12月 2日(日)	2012年11月12日(月)~11月29日(木)
12月16日(日)	11月26日(月)~12月13日(木)
2013年 1月13日(日)	12月25日(火)~2013年 1月10日(木)
1月27日(日)	2013年 1月15日(火)~ 1月24日(木)
2月11日(月祝)	1月28日(月)~ 2月 7日(木)
2月24日(日)	2月12日(火)~ 2月21日(木)
3月17日(日)	2月25日(月)~ 3月14日(木)

● AO入試

試験日	出願期間
2012年12月 2日(日)	※AO入試の出願については、 入試ガイドあるいはホームページにて ご確認ください。
2013年 1月13日(日)	
2月11日(月祝)	

柔道整復学科 [修業年数]3年	アドバンスコース	30名
	昼間コース	60名
	夜間コース	60名

取得資格 柔道整復師国家試験受験資格

● 高校生入試

試験日	出願期間
2012年12月 2日(日)	2012年11月12日(月)~11月29日(木)
12月16日(日)	11月26日(月)~12月13日(木)
2013年 1月13日(日)	12月25日(火)~2013年 1月10日(木)
1月27日(日)	2013年 1月15日(火)~ 1月24日(木)
2月11日(月祝)	1月28日(月)~ 2月 7日(木)
2月24日(日)	2月12日(火)~ 2月21日(木)
3月17日(日)	2月25日(月)~ 3月14日(木)

● モーニング入試(9:30~) ナイター入試(19:30~)

試験日	出願期間
2012年11月21日(水)	2012年10月29日(月)~11月16日(金)
12月19日(水)	11月26日(月)~12月14日(金)
2013年 1月23日(水)	12月31日(月)~2013年 1月18日(金)
2月20日(水)	2013年 1月28日(月)~ 2月15日(金)

森ノ宮医療大学

技術・知識に加え、人間力を兼ね備えた医療人に!

鍼灸学科 [修業年数]4年	60名
鍼灸コース スポーツ特修コース	

取得資格 学士/はり師・きゅう師国家試験受験資格
中学校・高等学校教諭一種免許(保健体育)
(スポーツ特修コースのみ。教職課程の履修が必要)

理学療法学科 [修業年数]4年	60名
-----------------	-----

取得資格 学士/理学療法士国家試験受験資格

看護学科 [修業年数]4年	80名
---------------	-----

取得資格 学士/看護師・保健師国家試験受験資格
養護教諭二種免許
(所定の科目を履修し、「保健師」資格を取得後、申請が必要)

オープンキャンパス

鍼灸学科特別オープンキャンパス

2012年
11月25日(日)

一般入試対策勉強会

12月15日(土)

オープンキャンパス&一般入試対策勉強会

12月16日(日)

入試日程

● 公募推薦入試③

試験日	出願期間
2012年12月 9日(日)	2012年11月19日(月)~12月 4日(火)

● 一般入試①/社会人入試①

試験日	出願期間
2013年 1月27日(日)	2013年 1月 7日(月)~ 1月22日(火)

大学院

● 二次募集

試験日	出願期間
2013年 1月16日(水)	2012年12月25日(火)~2013年1月9日(水)

● 一般入試②

試験日	出願期間
2013年2月17日(日)	2013年1月28日(月)~2月12日(火)

● 一般入試③/社会人入試②

試験日	出願期間
2013年3月 9日(土)	2013年2月18日(月)~3月 5日(火)

● 三次募集

試験日	出願期間
2013年2月25日(月)	2013年2月 8日(金)~2月18日(月)

※大学・大学院の入試日程等詳細は、森ノ宮医療大学アドミッションセンター Tel:0120-68-8908までお問い合わせください。

各入試の時間および内容、11月以降に実施する入試日程については、ホームページでご確認ください。

専門学校 <http://www.morinomiya.ac.jp/> 大学 <http://www.morinomiya-u.ac.jp/>

11 校友会会報

NO. 2012 NOVEMBER



卒業生インタビュー P4・5

5年後を目指して奮闘中!

奥村幸希子さん(大学鍼灸学科2期生)

校友会情報 P2・3・6

第8回校友会地方交流会報告/小児はり実演/同窓会だより/
濃農米通信8/青春の旅:国内編③~西の尾瀬と二川宿

寄付金募集について/寄付金申込者ご芳名 P19

NEWS&EVENT REPORT

大学院紹介 P7

大月隆史さん(修士課程2年)

森ノ宮医療大学 P8-10

大学広報室から/学生支援室から/コスモス治療院だより/大学図書館から

森ノ宮医療学園専門学校 P11-15

アドバンスコースアメリカ研修/森ノ宮柔整研究会/
スポーツ医学研究会/学生支援課から/広報室から

INFORMATION P16・17

治療室におすすめBook・CD/出版部書籍案内/専門学校学内推薦入試/
アロマ講座春コース募集/アロマ市民公開講座/
はりきゅうミュージアム・関西文化の日/『Beauty Forest』発行/エッセイ

みどりの風クリニックだより P18

スポーツリハビリ/マイブーム/ひとりごと①

平成25年度入試概要 P20



第8回校友会地方交流会は和歌山で開催

文化と食を堪能した2日間でした

<平成24年9月16日(日)・17日(月・祝)>

専門学校鍼灸学科教員 鍼灸学科31期昼間部卒業 南方 克之



第8回を数える校友会地方交流会。今回の行き先は和歌山でした。初日は晴天に恵まれ、ホテルに到着すると部屋から見える真っ青な海の大パノラマに出迎えられ、2日間がスタートしました。最初のプログラムは講演会。大阪鍼灸専門学校第3期生で、現在和歌山市で鍼灸師・柔道整復師として三代続く整骨院を運営されている関口芳夫先生を講師としてお招きしました。和歌山県の無形文化財に指定されている柔術流派「関口新心流」の第十三代宗家でもいらっしゃる関口先生は、この「関口新心流」について映像を交えて紹介してくださり、また整骨院の過去・未来についてお話いただき、参加者は興味深く聞き入っていました。その後の親睦会ではおいしい料理とお酒を楽しみながらそれぞれの近況報告を行い、新たな出会いとなつかしい再会の有意義なひとときを過ごしました。2日目は朝から雨もようの生憎の天気となりましたが、「円月島」「千畳敷」の波しぶきを鑑賞し、大型海鮮マーケット「とれとれ市場」でまぐろ解体ショーと海の幸のお買い物を楽しみました。今回参加いただいた先生方からは文化祭や交流会など学校の行事にも来てくださるといううれしいお言葉もいただき、今後のさらなる交流も楽しみになりました。

次回の地域交流会予定、四国は香川です。
「ほんまぎょうさんでいくけん」

Class Reunion 同窓会だより



卒業して8年半ぶり、大いに盛り上がった

鍼灸学科第30期夜間部卒 森脇 啓司



去る9月15日(土曜日)、鍼灸学科第30期生夜間部の同窓会を開催いたしました。今回、新しい試みとして7月中旬より学校のホームページに案内を掲載してもらい、FaceBookでクラスメイトに同窓会への参加を呼びかけました。また、出欠を取らず自由参加とした結果、遠く大分県や淡路島からも駆けつけてくれるなどクラスメイト19名が集まりました。会の終盤では、「たなかきょう」としてライブ活動中の田中大輔君の生演奏に乗っての大合唱で大いに盛り上がり、記憶に残る同窓会となりました。忙しい中ご参加くださった先生方、ありがとうございました。

参加者 19名
参加くださった先生方
下條喜信先生・尾崎朋文先生・森優也先生・松下美穂先生

仲の良いクラスが復活!

鍼灸学科医療資格者コース1期卒
福田 道久

猛暑の8月26日(日曜日)、大阪北堀江の「AUPA」で鍼灸学科医療資格者コース1期生のクラス会を行いました。先生方も交えて開業や結婚の報告など、それぞれの近況や体験談等々話も尽きず、二次会では遅れて参加した者も加わって、学生時代の仲の良さそのままに楽しい時を過ごしました。今回参加できなかった皆さん、次回ぜひご参加ください。



参加者 大平知紀・白井佐知・山田佳弘・末吉誠・品川博・山下純季・鈴木政欣・朴紀子・山中宏志・杉山絵里佳・福田道久・南野喜樹(順不同/敬称略)計12名
参加くださった先生方
森優也先生・榎引智裕先生

同窓会で明日への活力アップ!

鍼灸学科第33期夜間部卒 富永 美知子

去る7月28日(土曜日)、大阪・なんばの「鼻眞屋」で同窓会を開きました。集まったのはなんと29名! 直前のお願ひにもかかわらず尾崎朋文先生、小島賢久先生にもご参加いただき、笑い声いっぱい楽しいひとときとなりました。皆それぞれ刺激を受け合い、明日への活力となったようです。



参加者 岡幸典・角野行宏・金谷高宏・熊谷陽子・桑井健治・小林英恵・斎藤範・酒井浩司・塩見知佳・庄司吉孝・池内文子・高畑沙世・田中宇・戸出幸子・富田尚宏・富田恵由・富永美知子・中原英博・西山直樹・堀岡寛子・堀本元気・松田美鶴・村田沙・柳川真奈未・山川美和・山本豊・吉田めぐみ・須賀清子・仲野耕平(順不同/敬称略)計29名
参加くださった先生方
尾崎朋文先生・小島賢久先生

第6回日本小児はり学会学術集会

鈴木 信さん、坂本常意さん・朋子さんが小児はり実演

9月30日(日)、京都市下京区のキャンパスプラザ京都にて第6回日本小児はり学会学術集会が開かれ、専門学校鍼灸学科卒業生の鈴木信さん(第21期夜間部)、坂本常意さん(第12期昼間部)・朋子さん(第31期昼間部)母娘が、参加者に小児はりを行いました。小児はり



は、故森秀太郎名誉理事長がその普及に心血を注いだ鍼で、乳幼児のみならず大人へも有効との報告もなされています。



来る25年4月には、専門学校においてドイツ人医師で治療に小児はりを取り入れているトーマス・ウェルニケ氏の講演、さらに9月には同学会第7回学術集会も予定されています。皆さん、ぜひご参加ください。

農米通信 8

ハデ干しの稲をハーベスターで脱穀しています。

専門学校鍼灸学科第2期夜間部卒業 杉原 朝香

今年も農米が穫れました。167Kg(四畝約400平方メートル昨年157Kg、一昨年165Kg)豊作?でした。

春にミント植えて、カメムシ追い出し、秋には大豊作。ミント米万歳!となる予定でしたが、誤算が。まずミントの選別です。九州の悪友が持ってきて、畑の隅に植えていた、名前も良く知らないミントを、セッセと切り刻み140本の挿し木苗を作り、畦に植えていったのです。このミント、持って来た輩に似ても似つかない性質。そう臭いが優しいのです。そして上に伸びるばかりで蔓延らない。やっぱ、リサーチした通りペニーロイヤルミントでなくてはならなかったかと反省しきり。そして極めつけは刈り取ることに臭い発散した結果カメムシが、となるのに畦草刈ったのがたつたの二回という、横着振り。と云うことで、今年も大增産とは成りませんでした。悪しからず。

昔、毛沢東は、食糧増産を願って、稲の密植を薦めました。結果は減産。稲は、60cmの中に根を伸ばす。つまり30cm間隔で植える尺角植というのが理想だそうです。植えつける苗も、5本6本と沢山植えつけるより、2本差しという植えつけ方で、分蘖をしっかりとさせる(35本くらい)ことにより強い稲ができるのだそうです。

人間も小さく産んで大きく育てる。雑踏の中で暮らすより、日当たりの良い、風通しの良い、田舎で暮らすのが健康によいと云うことになりませぬ。

農米倶楽部事務局 広島県府中市上下町上下1869 スギハラ鍼灸院上下治療室内 TEL:0847-62-4272



5年後を目指して 奮闘中!

卒業生インタビュー



おくむら ききこ
奥村 幸希子さん
森ノ宮医療大学2期生
鍼灸学科卒業

東洋医学の奥深さと難しさを日々感じつつ、治療家としての姿勢、そして技術の習得に励んでいる奥村幸希子さん。社会人となって半年、仕事の合間に抱負をお聞きしました。

父に「自分の代わりに学んでほしい」と言われて

父は森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科3期卒業生。長野で鍼灸整骨院を営んでいます。どちらかというとスポーツ疾患、整形外科系の患者さんが多いこともあって、テーピングなど整骨分野の治療が多く、鍼灸治療は局所治療をメインにしています。私も高校生までクラブ活動で新体操をしていたので、たびたび父の治療に助けられました。

大学では、東洋医学的な理論を学び、その奥深さを知って、帰省するたびに父にその理論を伝授!?しました。父からは、自分の代わりに学んで来てほしいと言われ、責任重大です。

試行錯誤の毎日

まり鍼灸院には大学4年生の夏から週に2、3回見学生として治療室に入らせていただき治療の見学と、受付や患者さんを治療ブースにご案内する等の仕事も少しさせていただいていました。仕事は先輩方から指導を受けますが、自分で考えて行動することができずに注意されることが多く、落ち込みました。半年経った今では徐々に仕事にも慣れてきて、自ら考えて行動することも増えました。

院長試験をクリアすること

毎週土曜日の夜、治療時間終了後に院長の試験を受けます。試験はスタッフが順番で受けるのでチャンスは2週間ごとです。試験の内容は、各々の段階に応じて決められるので、皆休み時間や終業後に練習しています。お灸はまずうつ伏せ状態、それが合格したら仰向け…と部位ごとに試験があり、実際に院長の体に施灸させていただくことで穴性、部位、疾患などにより熱の加減等を指導していただき、それを含めて段階ごとに合格していきます。最終的には一通り実技を習得し、理論(中医学弁証)も理解した上で美颜鍼灸、小児鍼等各々の治療を任せてもらえるようにプログラムが組まれています。今では問診やお灸を担当させていただける技術も身に付き、今後、全身治療を担当していくにあたっても患者さんの気持ちを考え、前向きにがんばっていきたくと思っています。

5年で一人前に

まり鍼灸院には5年間勤めるという約束で入りました。言い換えると、5年後には一人立ちする、その修業の期間です。それで先輩からは「常に目標を持って、一日一日、今日はこれをする、今日はこれができたと自分で考えるように」とアドバイスを受けました。先輩

方の姿を見ると、がんばらなきゃと思います。

今はまだ、受付や問診、パルスをつないだり抜鍼をするだけです。クラスメイトがもう治療を任されているのを聞くと落ち込んだりもしますが、やっとどんなことであっても学べるということがわかってきて焦りも少なくなりました。例えば、最初に問診で患者さんの訴えを聞いて院長に伝えるわけですが、院長が治療でどこに刺鍼しお灸をしているかを見たり、治療中にそのツボを使う理由をおっしゃるのを記憶していると、後でその意味を考えることができ、自分のからだで追試もできます。

「先生」と呼ばれる難しさ

患者さんにとっては、治療院のスタッフはどんなに経験が浅くても皆「先生」なのだということを実感しています。治療院に来られる方々は、病院などを受診しても快方に向かわない、なんとか良くなりたくて必死な思いで来られていて、ご自分の病気についての知識も十分に持っておられる方が多いのです。それで何気ない言葉で傷つけたり、信頼感をなくすことになったり…。また反対に、問診から類推して「こんな症状はないですか?」とか、再診だと「前回よりこんなところが良くなっていますね」と言葉を添えるだけで、「わかってきている」と信頼感が繋がったりします。治療を受けていただく以前の対応も大切であること、それも学生だったときにはわからなかったことです。

東洋医学のすばらしさを

東洋医学の理論はすばらしいと思います。大学でその神秘を知って、在学中に専門学校の経絡治療サークルに入りました。鍼を数mm刺すだけで、あるいはお灸をしてほんの一瞬けむりが昇っただけで取り除いて「はい、楽になったでしょう」というのを実際に見て、その思いは一層深くなりました。

まり鍼灸院の治療法は、中医学弁証論治に基づいた全身のバランスを整えながら主訴を改善する方法です。弁証を立てることができるになると、体に強い力を加えたり重たい体を持ち上げることなく患者さんの不調を鍼とお灸のみで改善できることに魅力を感じ、また難しさも感じています。私もこれから理論を習得してがんばります。



お灸の練習の成果!!

5年後に実家に帰ってやりたいこと

今、長野の実家では父と姉が鍼灸整骨院を開いています。でも、その場所は道路の拡張計画予定地に入っていて、移転しなくてはならないのです。それで、移転を機に新しい治療院は、若者だけでなくお年寄りもリハビリやデイケア的に運動ができて、鍼灸でも局所治療と東洋医学的な治療ができるトータルヘルスケア施設にしたいと家族で話しているのです。それから、長野では、まだまだ「鍼は痛いもの」という思い込みが根深いので、そうじゃない、鍼は痛くないというのをわかってもらえるようにしたいと思っています。ちょうど5年後。実現できるように私も勉強していかなくてはと思っています。

良い先生に出会えました

大学のゼミでは、遠赤外線分光法を使って鍼灸が血流にどう影響を与えるかを卒業論文のテーマにしました。今にして思うのもっと良い方法があったように思いますが、ゼミの松熊秀明先生にご指導いただいたお陰でなんとかまとめることができました。また、国家試験の勉強と併行して、見学生として鍼灸院で研修していたときに、仕事があまくこなせず落ち込んでいたとき時間を割いて私の話を聞いてくださったり、院長から投げかけられた質問に対して考えるヒントをくださったりしました。恩師といえる先生に巡り会えたのも大学時代の財産です。

まだまだ足りなかった

大学を卒業して思うのは、まだまだ足りなかったということですね。私の場合、最終的に実家に帰るということから限られた時間をできるだけ有効に使うように、在学中から専門学校のサークルに入ったりしてがんばったつもりでしたが、もっともっとやってあげればよかったと思います。大学生活を楽しむことももちろんいいし大切ですが、勉強と同時に大学生なりに社会経験を積むことも必要ですね。臨床で患者さんと向き合うとそれがよくわかります。



まり鍼灸院

院長 中村真理
(鍼灸学科第29期昼間部卒)

住所 〒543-0072
大阪市天王寺区生玉前町2-18-
生魂マンション603号

電話/FAX 06-6170-8341

診療時間 午前9:00~12:00/午後15:00~19:00

休診日 火曜・木曜・日曜・祝日

☆完全予約制

愛知県豊橋市

西の尾瀬「葦毛湿原」と旧東海道「二川の宿」



専門学校 事務局 古谷 壽宏

愛知県のガイドブックに「都会の中の葦毛湿原 西の尾瀬」の見出しで湿原の案内が掲載されていた。湿原に特に興味を持っていたわけでもないが、都会の中の湿原という言葉が長く脳裏に焼きついてた。愛知万博の頃、再びガイドブックに葦毛湿原が掲載されていたので、体力のあるうちに青春18切符を使って行ってみようとして2009年8月中旬の暑い最中に行くことにした。片道4時間、255kmのJR東海を利用した旅で、行先は豊橋である。

前回(No.6)も書いたが、青春18切符での旅の成功は最少の乗り換え回数で目的地に行く、旅先での滞在時間をできるだけ長くする、この2つが鍵となる。

可憐なサギ草咲く葦毛湿原

朝早くJR吹田駅に向かい、高槻、米原、大垣と3回乗り継ぎ10時30分ごろJR豊橋駅に降り立ち、すぐさま豊鉄バスの停留所に向かった。幸い15分ほどで岩崎行きのバスが来て、20分弱で葦毛湿原前バス停に到着。そこから家屋が点在する田園の中を8分ほど歩いたところに葦毛湿原の駐車場があり、更に木立の茂る道を歩くこと10分で目的地の湿原地帯に着いた。確かに都会の中にある湿原の雰囲気である。

道中、この湿原を守るボランティアの人に会った。ちょうど湿原からの帰り道であるとのことでした。湿原の状況は10年前と比べて山からの水が年々少なくなって雑草が増え、湿原を守るための手入れが大変とのことであった。親切にも別れ際に葦毛湿原のパンフレットをいただいた。

思ったより広い林の中の道を歩いて行くと葦毛湿原の碑が立っていた。いよいよ湿原への入り口である。ここも例に漏れず定番の



葦毛湿原案内板



サギ草

板道が続く、その板道を歩きまわったが、確かに雑草も多く花の種類も少なかった。しかしこの時期お目当てのサギ草はあちらこちら細い茎の先で咲いていた。昔、サギ草を買って自宅で鉢植え栽培したがすぐに枯れてしまった。自宅では難しいと思っている。

葦毛湿原は面積でいえば尾瀬の湿原の1%にも満たない。歩き回るだけであれば30分もあれば一周できるのではないかと思えるほどである。確かに都会から直ぐに行

ける場所で便利であるが、この暑い時期に散策する人は数少なかった。小さな花が低い場所で咲いているのを狭い散策路に寝転んで撮影しなければならなかった。近隣に人家があり、低山の山裾で湿原が保たれているのは今も湿原を守る人々がいるからであろう。

宿場町二川宿でプチ江戸気分

散策は予定より短時間で終わったので、次の目的地の旧東海道宿場町二川へ向かうことにした。バスでは直接行かず、また乗り換えと運行本数の少なさから歩いて向かうことにした。葦毛



二川宿本陣内部

湿原を出てバス道を戻り20数分、豊橋医療センターの真新しい建物を過ぎさらに歩くと下り坂になり豊橋市内が遠く見渡せた。途中、小さなスーパーで遅がけの昼食にありつき、更に数km歩いてやっと旧東海道に出くわした。旧東海道と言っても現在は開けた道となっており、二川宿まで2km、旧東海道の面影が残っていたのは折れた松の木一本と標識のみであった。やがて国道一号線につながり、それを渡るとJR二川駅に着いた。

宿場町二川宿は二つの村をお互い近づけて作られ、『東海道五十三次』の33番目の宿場町で天領であった。旧東海道で本陣が残っているのは滋賀県の草津本陣とこの二川本陣のみである。二川宿本陣資料館には、本陣と当時の旅籠屋が移築され内部見学ができる。本陣は部屋数も多く、三度笠の貸衣装もあり、当時の雰囲気写真が撮れる。到着した時間も遅く、見学は私達だけだったのでゆっくり観賞できた。ただ宿場町は表通りの旧東海道は1kmのほぼ一直線の道で、江戸時代の面影はほとんど残っていないように思えた。

二川宿本陣から戻って再び二川駅へ向かう。JR二川駅は2002年に駅舎の改修および周辺が整備されてきれいな駅舎で、駅前に設置された二川宿の大きな案内板が印象的であった。

16時半ごろ帰途につき、豊橋…米原…高槻と3回電車を乗り換えて21時ごろ帰宅した。

行程
往路 JR吹田駅▶高槻▶米原▶大垣▶豊橋▶岩崎▶葦毛湿原前▶二川 所要時間4時間/乗換え3回
復路 JR二川駅▶豊橋▶米原▶高槻▶吹田 所要時間4時間20分/乗換え3回

保健医療学研究科保健医療学専攻 修士課程2年

大月 隆史さん



国際東洋医学会の日韓ワークショップで発表する大月隆史さん

第16回 国際東洋医学会で発表

研究テーマ 「鍼灸診療ガイドラインの現状と課題」

国内で公表されている診療ガイドラインのうち、慢性腰痛、線維筋痛症、片頭痛、緊張型頭痛、がん患者のいくつかの症状などについては、すでに鍼治療が含まれています。大学院生修士課程の大月隆史さんは、このような医療界の動向を踏まえて近年作成されつつある鍼灸診療ガイドラインについて研究しています。実は韓国ではすでにいくつかの運動器疾患に対する鍼灸診療ガイドラインが公表されています。しかし鍼灸治療だけの診療ガイドラインが本当に作成可能なのか、そしてそれは本当に鍼灸臨床の質を向上させるのかについては十分に検証されていません。大月さんはこの点に注目して、慢性腰痛についてのどの程度のガイドラインが作成可能なのか試作を行い、現代医療における各種疾患に対する診療ガイドラインのエクステンション(拡張部分)としてならば鍼灸診療ガイドラインは作成可能であるという結論に至り、本年9月に韓国ソウルで開催された第16回国際東洋医学会の日韓鍼灸ワークショップで英語発表しました。韓国と日本の研究者がそれぞれの立場と経験から活発に意見交換し、白熱した議論が展開されました。

大月さんの指導教員であり大学院の研究科長でもある山下 仁教授は「鍼灸界はまだガイドラインの怖さを知らない」と言います。「ランダム化比較試験などの科学的手法で示された鍼のエビデンスレベルと矛盾して過小評価あるいは過大評価した推奨度を掲載した診療ガイドラインが多く見受けられます。鍼灸師が知らないうちに医療界でとんでもないガイドラインが一人歩きして鍼灸が誤解される恐れがあります。そのようなことが起こらないよう、情報収集と批判的吟味を加えるような作業も本学大学院の重要な研究活動の一部だと考えています。」と山下教授は語っています。

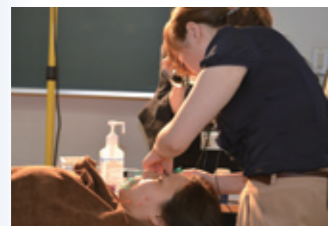


前列右から2番目が大月さん、3番目が山下仁教授

大学広報室から

オープンキャンパス及び入試対策勉強会、大盛況

7月～9月にかけて開催したオープンキャンパス及び入試対策勉強会には1700名を超える受験生や保護者の方々にご参加いただきました。



さまざまな特別プログラムを実施しましたが、なかでも7月の大手化粧品会社「シーボン」による美容鍼、8月の大阪府立急性期・総合医療センター

の認定看護師による特別講義、本学卒業生を招いての「新人医療者たちが語る医療現場の今」は好評を博し、大成功のうちに終了しました。

また、入試対策勉強会では入試が間近に迫っていることもあり、参加した受験生の一様に真剣な眼差しでメモを取っている姿が印象的でした。

11月以降もオープンキャンパスや入試対策勉強会などのイベントを行います！ ホームページにて随時、大学の最新情報を公開しておりますので、ぜひご覧ください。（金 徹）

地域連携への活動

1 9月4日(火)子宮頸がんの予防・検診等の啓発を呼びかける「オリックス・パファローズティール&ホワイトリボンDAY」が京セラドーム大阪で実施されました。本学では、子宮頸がん等について事前学習を行った看護学科の学生が、入場者の方々に啓発チラシの配布とアンケートを行いました。

2 9月23日(日)大阪府立急性期・総合医療センターとの連携事業による市民公開講座を開催しました。当センターの脳卒中センター長・神経内科部長である狭間敬憲先生の基調講演「脳卒中診療の進歩」のほか、「脳血管障害と鍼灸治療」「寝たきりにならないための理学療法」「脳卒中と看護」と題して、本学各学科教員がそれぞれ講演を行いました。今回は100名以上の事前申込みがあり、会場は熱気に包まれていました。

3 10月14日(日)大阪市の御堂筋を歩行者天国にした「御堂筋Kappo」が実施され、本学の出展ブース「一次救命処置体験」と「寝たきり防止のための体力測定」には終日列をなすほど多くの方々に来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。



4 10月20日(日)「ヘルスジャンボリー2012」が長居公園で開催されました。「運動負荷テストと呼吸循環機能の評価」、「東洋医学的ツボ療法相談」のブースを設け、子どもから大人まで幅広い世代の皆さまにご参加いただきました。（寺井知子）

中学生対象のサマー・セミナーを開催

学習への興味・関心が高い中学生に対して、夏休み期間中に大学等と連携して、より一層の関心・能力を高める「大阪中学生サマー・セミナー」(大阪中学生サマー・セミナー推進協議会主催)が森ノ宮医療大学でも行われました。

本学では7月～8月にかけて①「呼吸循環器系、その秘めたるパワーを科学する」、②「スポーツや健康で生かせるツボの知識を知ろう」、③「やさしい運動指導のコツ」、④「いのちの不思議」の4講座を開講しました。

参加した中学生からは「普段は経験できない体験がたく

さんできた」「いろいろなツボを知ることが出来て役に立った」「部活で先輩たちを指導するのに勉強になった」「赤ちゃんが誕生するまでに色々な奇跡があったことを知った」「両親に感謝したい」等の声が聞かれ、大変有意義なセミナーとなりました。（石塚充弘）



学生支援室から

平成24年度第1回学内合同就職説明会を開催しました



合同就職説明会



就職ガイダンス

今年度は例年より2カ月早く、森ノ宮医療大学教育後援会との協賛で、8月19日(日)に第1回学内合同就職説明会を開催しました。今回は42の医療施設および大学院・専門学校の2校にもお越しいただき、大変実りある説明会となりました。また、学内合同就職説明会前には就職ガイダンスを実施し、身にスーツをまとった4年生が就職活動を行う上での社会人マナーや学内

合同就職説明会への臨み方等を学びました。

この秋、4年生は本格的に就職活動を開始します。OB・OGの先輩方のお勧め先で、鍼灸師および理学療法士の求人がございましたら、森ノ宮医療大学学生支援室(Tel:06-6616-6911)までご一報ください。

女子バスケットボール部が昇格しました



森ノ宮医療大学女子バスケットボール部が、8月15日～31日に行われました関西女子学生バスケットボールリーグ戦に初参戦しました。少ない練習時間や前期試験直後の大会ではありましたが、3部Bリーグにおいて快進撃を続け、1次リーグを5勝1敗の好成績で終えた結果、見事に昇格を果たしました。学生達は連戦のため疲労困憊ではありましたが、アイシングや鍼灸治療を駆使し最後まで戦い続けました。応援してくださった皆さま本当にありがとうございました。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。また、詳細は関西女子学生バスケットボールのホームページ(<http://kwibaofficialsite.wordpress.com/>)およびオフィシャルブログ(<http://kwiba.wordpress.com/>)をご参照ください。

森ノ宮医療大学Facebook公式ページ開設のお知らせ

森ノ宮医療大学では、情報発信の新たな手段としてFacebookに大学公式ページを開設しました。ニュースやイベント情報、キャンパスの様子など「森ノ宮医療大学の今」を発信していきます。Facebookを利用されている方は、ぜひ「いいね!」ボタンを押して、森ノ宮医療大学の情報をご覧ください。

URL www.facebook.com/morinomiya.univ.medical

なお、この公式ページは情報発信が目的のため、Facebookページ上で寄せられた個別の質問やご意見には、対応できませんので予めご了承ください。（広報室）

森ノ宮医療学園専門学校

MORINOMIYA COLLEGE

第45回全国柔道整復学校協会柔道大会2部リーグで3位!



専門学校柔道整復学科教員 入江 浩正

平成24年8月24日(金)、第45回公益社団法人 全国柔道整復学校協会 柔道大会が行われ、本校を代表して、男子10名、女子3名が出場しました。

この大会では、今までは女子チームが一度決勝トーナメントに進んだことがありましたが、残念ながら入賞はできず、男子チームにおいては一度もありませんでした。しかし

今年は、本校男子チームが見事予選を突破し、2部決勝トーナメントにて3位になりました。さらに2年アドバンスコースの岸野篤祥君が優秀選手に選ばれました。また、女子チームも予選にて同率8位となり、抽選の結果で惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした、とてもよい試合内容でした。

今年の代表選手は、男女とも今まで以上にチームの結束が固く、週に1度しかない練習日にも積極的に参加するなど選手みんなが熱心に稽古をしていました。その結果が出たものと思います。このチーム力を継続していき、また来年の大会に向けてがんばっていきます。

卒業生からのご厚意で、アネックス校舎の舞台が完成!

専門学校事務局 局長 川鍋 史一

平成22、23年度の卒業生の皆さんより「卒業記念」としていただきましたアネックス校舎4階の舞台装置一式の施工が、この度、完了いたしました。

400名を収容するホールに、大型スクリーンと舞台上を照らすスポットライト、さらに必要に応じて吊り看板も設置することができ、大規模な学術大会等のメイン会場としても充分利用可能です。会員の皆さんが、主催者として大会を運営される際には、ぜひご利用ください。

卒業生の皆さん、ありがとうございました。



コスモス治療院だより

森ノ宮医療大学教授・附属施術所所長 仲西 宏元

秋の候、会員の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成24年度も後半に入り、秋のイベントとしましては、大阪市主催の市民参加型の健康と自然と楽しむイベント「大阪ヘルスジャンボリー」の東洋医学的ツボ療法相談コーナーに専門学校と共同参加します。施術所スタッフが市民を対象に東洋医学的な証を立てて、それに対するツボ療法を指導するイベントです(次号でその報告をさせていただきます)。

さて、昨年度より実施の卒後教育「研修鍼灸師制度」に本年度は7名が在籍し、鍼灸臨床に励んでいます。特に今年度は学園外の養成施設卒業の鍼灸師さんも参加されています。この研修制度は本学園の卒業生を対象としていますが、学園外であっても卒業後直ぐでもう少し勉強したい方は参加可能です

ので、お問い合わせください。

また、本大学4年生を対象とした臨床教育の充実を図るため、学生のコミュニケーション能力、診断技術、治療技術の向上を目的とした客観的臨床能力試験(OSCE)の導入を開始し、施術所スタッフは奮闘しています。研究に関しては、前10号で報告しました不眠治療を継続しており、研究担当の鍋田智之先生が全日本鍼灸学会より研究費助成を受けることになりました。今後その研究についての報告もできるのではないかと考えております。

今後もコスモス治療院は臨床、教育、臨床研究を充実していきたいと思っております。それには治療院の知名度を高めることが必要になってきます。今後とも施術所に対しましてご協力をよろしくお願い申し上げます。

大学図書館から

司書 井上 洋子

蔵書検索サービスが始まりました!

●蔵書(図書のみ)の検索が学外から可能になりました。大学HPの【図書館・出版部】のタブをクリック⇒画面中央の「図書検索OPAC」ボタンをクリックすると「蔵書検索サービス」画面に入れます。



●また「図書館カレンダー」では開館日が確認できます。試験期間等には校友会会員の方へのサービスは閲覧のみとなっていますので、来館前にご確認ください。

第9回ブックハンティング

6月に第9回ブックハンティングを開催しました。梅田の丸善ジュンク堂に卒業生も交えて7名が集まり、専門書から人生訓、料理、ちょっとマニアックな本まで、幅広い分野の図書を選びました。今回の目玉は看護師の世界をリアルに描いたコミック「おたんこナース」(佐々木倫子画、小林光恵原作/小学館)。ぜひご覧ください。

なお、第10回ブックハンティングは11月11日(日)に予定しています。

図書のご寄贈ありがとうございました

MOA健康科学センター、大阪介護老人保健施設協会、全国老人保健施設協会、武田科学振興財団、森ノ宮医療大学教育後援会、石川俊明、伊藤剛、大巻悦子、荻原俊男、尾崎朋文、川畑浩久、河村廣幸、旭堂南陵、小山なつ、坂出祥伸、築山房乃、中田啓吾、永瀬佳孝、中村允之、能勢英里香、原幸夫、藤重仁子、榊井靖之、松田淳子、宮本忠吉、村上生美、安田実、山口真人、山下仁(敬称略、五十音順)

寄贈図書についてお願い

皆様にご支援いただき大学図書館の蔵書も1万5千冊を超えました。今後は刊行後5年以内の医療関係書(鍼灸の貴重書、整形外科関連の稀少本を除く)に限らせていただきたいと思います。また著書と上梓されました折はぜひともご寄贈をお願いいたします。

★お問い合わせ:森ノ宮医療大学附属図書館

Tel:06-6616-6922(直通) 井上・近藤・小松まで

アメリカ研修を終えて

スポーツ現場と医療の密接な関係を知る

柔道整復学科2年 アドバンスコース 山田 捺弥

私たち柔整学科アドバンスコース2年生は、6月17日～29日の12日間、アメリカ合衆国オレゴン州アシュランドにある南オレゴン大学(SOU=South Oregon University)へ研修に行ってきました。

SOUでは折りよく高校生によるアメリカンフットボールの練習合宿が行われていたので、アスレチックトレーナーの活動を間近で見学させていただくことができました。頸椎損傷が疑われる選手へのスパインボードの使用や、足関節の内反捻挫と症状が似ている腓骨筋損傷など、珍しい症例も見学できました。選手がスポーツ外傷を負った際のアスレチックトレーナーの評価、応急処置など、とても勉強になりました。



また、メインで講義を担当してくださっているアスレチックトレーナーのマイク・スティーブンソン先生には、午前にはスポーツ外傷や障害の講義、午後にはその外傷にかかわるテーピングを教えてくださいました。その他にも評価法実習、心肺蘇生法なども行いました。日本人トレーナーである小高行雄先生にはア

メリカでのトレーナー活動の詳細やトレーナーになった経緯などを教えていただき、また、チームドクターであるDr.タウンゼント氏からは、バンカート損傷の内視鏡手術映像を見せていただき質疑応答などの貴重な経験をさせていただきました。聴講する学生の我々も臨床経験など先生方の熱心な講義に身が引き締まる思いでした。

夕食後には大学の施設を使わせていただき、先生方も含めてみんなでスポーツ大会をしたり、大学が休校である土日には消防署やクレーターレイク見学、ジェットボート体験、ショッピング、マイク先生の上司であるサムさんのご自宅におじゃましたりと大いに楽しみました。そして最終日にはアメリカでお世話になった方々に感謝の気持ちを表してみんなでサンクスパーティを開催しました。

今回の研修を通して、アメリカのアスレチックトレーナーには部分的に医療行為が認められており、スポーツ現場と医療は密接な関係にあると感じました。我々柔道整復師がスポーツ現場、スポーツ外傷とどのように関わらなければならないのか、多くのことを学ぶことができました。外傷後の評価、処置、後療など、今回のアメリカ研修で得た知識と経験を自身の医療活動に役立てたいと思います。

今回の研修を通して、アメリカのアスレチックトレーナーには部分的に医療行為が認められており、スポーツ現場と医療は密接な関係にあると感じました。我々柔道整復師がスポーツ現場、スポーツ外傷とどのように関わらなければならないのか、多くのことを学ぶことができました。外傷後の評価、処置、後療など、今回のアメリカ研修で得た知識と経験を自身の医療活動に役立てたいと思います。



森ノ宮柔道整復研究会は卒業生を中心とした学びの場です

柔道整復学科教員 第2期昼間部卒業 伊黒 浩二

森ノ宮柔道整復研究会(森柔研)は本学柔道整復学科の卒業生が中心となって活動している研究グループです。定期的に開催している勉強会を中心に、年1回の学術集会を開催したり、紀要集を発刊するなど活動しています。

本年度はスポーツと医療に特化した勉強会をシリーズで開催しており、毎回多くの会員が参加しています。また本年度より在校生の皆さんにも参加していただけるようになり、益々盛況な勉強会となっています。

森柔研では卒業生、在校生、学科、職種を問わず、多くの方に役立つテーマで勉強会を開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。詳細は下記の連絡先までお問い合わせください。



本年度の勉強会テーマ

- 4月 ACL損傷のメカニズムと予防方法について
- 6月 サッカー選手の単径部痛症候群について
- 8月 上肢スポーツ外傷におけるリハビリテーションの考え方
- 9月 スポーツと栄養1
- 10月 競技スポーツにおける医科学的視点
- 11月 脊柱の診かた2
- 12月 カンファレンス

- 2月 スポーツと栄養2
- 3月 選手をサポートするための心理学

問い合わせ先:森ノ宮柔道整復研究会事務局
担当:伊黒、外林、老後
TEL:06-6976-6889
E-mail:sotuken@morinomiya.ac.jp

「スポーツ医学研究会」、活発に活動中

スポーツ医学研究会 顧問 伊黒 浩二



スポーツ医学研究会(スポ研)は柔道整復学科の1期生から続いている学生会公認のクラブ活動です。スポーツや医学に関することで、自分たちが学びたいことをテーマに取り上げ、講師の先生方を招き勉強会を開催したり、また、自分たちでテーピングなどの実技を練習するなど、精力的に活動しています。最近ではスポーツトレーナーに特化した勉強会を中心に開催しており、2012年度からは清教学園高等学校アメリカンフットボール部のメディカルサポートを行っています。

スポーツ現場では治療所や学校と違い、限られた条件の中で医療活動を行わなければならない、臨機応変な対応が求められます。こうした臨機応変な対応にはしっかりとした基礎知識と技術が欠かせません。スポ研の学生たちにとっては、学校やスポ研で得た知識と技術を発揮する絶好の機会であり、毎回いい緊張感の中で活動しています。

■ 学生支援課から

1 就職・開業支援講座「サマーフェスタ2012」好評のうちに無事終了



8月8日・9日の2日間、就職・開業支援講座「サマーフェスタ2012」を開催しました。在校生だけでなく一般の方や卒業生の事前予約も多く、2日間で延べ272名の参加があり、どの講座も盛況で教室にはクーラーが入っているにもかかわらず、皆さんの熱気で暑い状況でした。講師の方々からは「熱心に受講している学生の姿が印象的でした」との言葉をいただきました。また、学生からは「ウィンターフェスタは開催するのか」、「この先生の講義をもっと聞きたい」などの声も寄せられました。これからも就職・開業支援内容を充実させ、皆さんにより良い情報を提供していきたいと思っています。ご期待ください。

2 2012年度「第10回就職相談会」開催のご案内

第10回という節目になる今回の就職相談会は、平成25年1月13日(日)のオープンキャンパスと同日に開催します。11月より求人情報を1階エレベーター前に順次掲示していますので、備え付けの用紙にてエントリーしてください。求人先の先生には、皆さんのエントリー結果をお伝えし、参加をお願いします。エントリー数が少ない場合には、参加されないこともありますので、気になる求人先にはどんどんエントリーしておいてください。

求人先の先生方にお越しいただき、直接お話をうかがえる年1回の貴重な機会です。今すぐでなくても、来年4月からの転職やアルバイト先を見つけるのももちろんですが、色々な先生の治療方針などもうかがえるチャンスです。在校生はもちろん、卒業生の方も奮ってご参加ください。

また、エントリー受付期間中104教室にて就職相談サロンを水曜日の16:00~18:00に開設します。就職について相談のある方はお気軽にお越しください。

日時 平成25年1月13日(日) 11:30~13:00(11:00受付開始)(予定)
場所 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎4階



3 就職・開業支援講座「ウィンターフェスタ2012」開催のご案内

就職相談会に先駆けて「ウィンターフェスタ2012」と題して就職・開業支援講座(3講座)を開講します。講座の詳細は、本校ホームページおよび学内掲示板をご覧ください。

日時 平成24年12月26日(水)
場所 森ノ宮医療学園専門学校 本校舎
受講料 在校生:無料(学生証を提示)/卒業生:一般:1講座1,000円(当日支払い)
講座内容 13:00~14:30 間違いのない就職先の探し方(株)シー・エム・シー志田恵一)/ 15:00~17:00 患者様・ご利用者様の心を癒す 接遇(ANAラーニング(株))/ 17:30~19:00 かづきれいこ監修リハビリメイク2(仮題)(REIKO KAZKI専属講師尾田由紀子)
申込方法 お名前・ご連絡先・受講希望講座名を明記しFAX又はメールでお申込ください。※電話でのお申込は不可。
メールアドレス:winter2012@morinomiya.ac.jp

4 袴展示会のお知らせ



(掲載許可済)

袴の展示会をレンタル着物会社「さかの館」様のご協力で、下記日程にて開催します。卒業式当日の着付け・ヘアアレンジ・写真撮影は式会場近くで行われますので、会場まで普段着で行くことができます。また、展示会開催期間中は振袖や男性用の紋付等の相談もでき、卒業生の方も学生価格が適用になりますので、友人の結婚式にも利用できます。見学、試着して携帯・スマホでの写真撮影等もOKですので、ぜひ展示会を覗いてみてください。

第1回 平成24年11月21日(水)、22日(木) 12:00~18:00
第2回 平成24年12月12日(水)、13日(木) 12:00~18:00
第3回 平成25年1月23日(水)、24日(木) 12:00~18:00
場所 森ノ宮医療学園専門学校 本校舎1階

■ 専門学校広報室から

■ 学生主催の運動教室を実施

9月21日(金)16時50分より、アネックス校舎4階多目的ホールにて学生主催の運動教室が行われ、国家試験に向けて勉強に励む鍼灸学科昼間・夜間コースの学生10数名が集まり、約30分間楽しく思いっきり体を動かしました。

講師にはサマーフェスタでお世話になった健康サポートプロジェクト代表の坂田純子先生にお願いし、手軽にできる運動で脳と体のバランスを活性化させるプログラムが取り入れられたエクササイズをご指導いただきました。「ふだんの勉強の疲れをほぐすのはもちろん、施術の前に少し体を動かすことにより、手先の動きがかなりスムーズになりますよ。」と坂田先生がおっしゃったように、学生さんたちはその効果を実感したようでした。

今後、毎月1回、運動教室は開催する予定です。なお、この受講料は東日本大震災・津波遺児支援に寄付されます。

(浅井行夫)



■ 一般公開講座「ツボ講座」開催



9月19日(水)、一般公開講座「頭痛に効くツボ」を開催しました。

当日は鍼灸学科教員の西田隆先生に頭痛の種類や特徴などについて説明いただき、さまざまな頭痛に効果的なツボの位置を教えてくださいました。

ツボ講座は今後もテーマを変えて開催したいと企画しております。

■ 学生に大好評「スポーツトレーナーセミナー」

9月29日(土)、在校生を対象とした第1回スポーツトレーナーセミナーを開催し、スポーツトレーナーを目指す多くの学生さんが参加してくれました。

当日はオリンピック選手のトレーナーも務める非常勤講師の岩本広明先生にトレーナーとしての評価の仕方・動きの見方について、実際にケガをしている学生をモデルに実演していただきました。

第2回は「リハビリトレーニング」、第3回は「テーピング・ストレッチ」と題して開催予定です。

(永岡憲蔵)



■ 治療室におすすめBook

森ノ宮医療大学附属図書館 司書 井上 洋子

『読売新聞朝刊一面コラム
「編集手帳」』

竹内政明著/中公新書ラクレ



心にしみる“読む薬膳”

待合室で本を手取る人は、間違いなく「今が不調」の患者さんです。体が不調の時に粥を食べると、滋養がじわじわとしみわたりただけで元気が出てくる気がしますが、同じように心が少し疲れた時には、心にじわっとしみてくる「読む薬膳」のような本がありがたいですね。

「編集手帳」は書名の通り「読売新聞」朝刊一面に掲載されているコラムをまとめて本にしたもので、現在第二十二集まで刊行されています。新書版の大きさの本を開くと、1回分がちょうど見開き2ページ分で、すぐに読めてしまうのですが、「毎食後一缶ずつお飲みください。」と一回分ずつ包まれた飲み薬に似ていて、少しずつ効てきます。

特に5月22日のコラムに、スカイツリーを「天上の鍼灸師が大きな手で地表に刺した鍼」に例えた文章は秀逸でした。

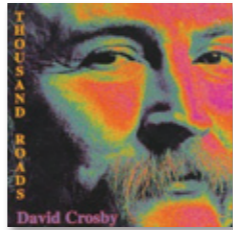
■ 治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学 大学院教授 永瀬 佳孝

『Thousand Roads』

デイビッド・クロスビー

レーベル●Atlantic / Wea ASIN●B0000021VF
EAN●0075678248429



「言葉を伝える」意味…

言葉を大切にするとデイビッド・クロスビーは言った。「言葉を大切にしない音楽が増えてきたら、それは自分たちの怠慢のせいだ」とも言った。

哲学や数学だけでなく、すべての学問は言葉を大切に。たとえば、「色」や「形」という言葉だけでも、哲学が概念を明晰化しようとし、知覚を研究する心理学、生理学が人間や動物で計測し、数学、物理学、化学が物質として計測し、芸術が測ることのできない価値を創造してきた。数え切れない数の人が膨大な時間をかけて、言葉を構築し、破壊し、さらに再構築してきた。無駄に思えるかもしれないが、こういった過程を経た言葉だけが残り、学問の世界で使われてきた。使用に耐えられないものは消えていった。

家庭教師として、高校生に数学や物理など自分の専門以外の教科を教えることはできる。大学生にはできない。なぜなら、大学は学問をするところである。教員が大切にしてきた言葉を伝えるところである。専門以外のことを教えるのであれば、大学の教員ではなく、教わる側も大学生ではない。「ひとつの概念ができるのに2年かかる」と数学者である友人が言った。2年経つと新しいものも古くなる。大切な言葉が伝わらないというのであれば、それは教員の責任である。

森ノ宮医療学園出版部 書籍のご案内

季刊誌「鍼灸OSAKA」106号

特集「海外で鍼灸師として生きる」

B5判128ページ 2,039円(税込・送料別)

患者さんがいて良い鍼ともぐさがあれば成立する鍼灸。ヨーロッパ・北米・アジアなどグローバルに活躍する日本人鍼灸師の経験や医療資格・労働ビザなどのリソースを特集するとともに、座談会では国内を中心に鍼灸と鍼灸師の可能性を拡大するためのヒントや提案を語っていただきました。



次号
予告

11月下旬発行予定

107号の特集は「日本鍼灸:共存する豊かさ」(仮題)

B5判125ページ 2,039円(税込・送料別)

日本鍼灸の特徴の1つとされる多様性。それは鍼灸が実証的医学であり、臨床を基本に身体と真摯に向き合う医術であることの証明では? 今号では方法論を模索される様子を先生方に執筆いただき、さらに多様性を損なわない標準化の可能性を議論していただきました。

新刊案内

『健康で知的なからだをつくる51のレッスン
～からだの気づきで脳が変わる
フェルデンクライスメソッド～』

フランク・ワイルドマン著/藤井里佳訳
181頁 2,625円(税込)

私たちは無意識にからだを動かしています。その時、脳はどうしているでしょう? 生まれたての赤ちゃんは自分のからだの動かし方を脳との連動で一つひとつ学んでゆきます。本書は、そのからだに気づかせる感覚を取り戻すためのレッスンのなかから51を紹介。欧米では発達障害等の治療でスタンダードなメソッドです。



『はりきゅうロード
～日本全国、伝統医療の歴史を見て歩こう』

森ノ宮医療学園出版部編
168頁 2,730円(税込)

歴史から現代が見えてくる。史跡や現存する史料、民間に伝承されている祭りや行事には実に多くのことが伝えられています。医療の歴史の奥深さと時代の伊吹、医聖の熱意を感じてください。第一線で活躍されている研究者によるエッセイは良きガイドとなってくれます。



『生きているとは
～看護の本質とこれからの看護』

薄井坦子著 38頁 525円(税込)

23年6月、森ノ宮医療大学看護学科開設記念講演会での薄井坦子先生の講演内容を1冊にまとめました。看護師教育に尽力しつつ、「看護とはなにか」を追求されてきた薄井先生ならではの言葉は、看護論にとどまらず、深く生命観や人間論に及んでいます。東洋医学を志す方々へも示唆に富む内容です。



■ 専門学校学内推薦入試のお知らせ

11月26日(月)～28日(水)に学内推薦入試を実施いたします。受験希望の方は必ず説明会にご参加ください。

説明会日時

- 平成24年11月9日(金) 場所:本校舎7階講堂
①午後4時15分～午後4時45分 ②午後9時15分:午後9時45分
 - 平成24年11月10日(土) 場所:本校舎1階 106教室
①午後4時～午後4時30分
- 入試内容や時間は「入試ガイド2013」(23・24頁)に準じて行います。

詳細は入試事務室までお問い合わせください。

TEL: 06-6976-6889

E-mail: adm@morinomiya.ac.jp

担当: 清水・川鍋

■ 平成25年度「アロマ講座」春コース
受講生募集中!

平成25年度も「アロマコーディネーター資格取得講座」を開講します。これまで学内外の受講生100名以上の方が受講後、資格を取得し、さまざまな分野で活躍されています。詳しくは、同封のパンフレットをご覧ください。

■ アロマ市民公開講座のご案内

12月・1月は「手のぬくもりを贈ろう～アロマハンドトリートメント講座」、2月は「アロマで始める!脳のアンチエイジング」。金曜日の夜、アロマに触れてみてはいかがでしょうか? 詳しくは同封のチラシをご覧ください。

■ はりきゅうミュージアムは
今年も「関西文化の日」に参加します。

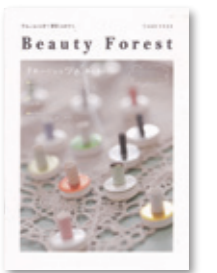
「関西文化の日」は、毎年11月に関西2府8県約450の美術館・博物館などが参加して行われる催しで、全ての参加施設で入館料や常設展入場料が無料になります。この機会を利用して、アートに触れてみてはいかがでしょうか? 詳細はホームページ(<http://www.kansai-bunka.com/index.php>)をご覧ください。

☆はりきゅうミュージアムはいつでも入場無料。

開館日と開館時間は通常通り(平日1:30～6:30p.m)です。
※土・日および学校休校日は休館

■ きれいのツボ!発見マガジン
『Beauty Forest』を治療院の待合室に!

『Beauty Forest』は、女性をメインにした情報誌で「美顔やダイエット、身体の不調に効くツボ」「きれいになるツボあります」、<陰陽食品バランスで、冷え性知らず>、<旬を食べて健康に>、<女性のための癒しのスポット>を紹介しています。読み物としても治療院の待合室にぴったりです。ご希望の方は専門学校広報室(浅井・永岡Tel:06-6976-6889)までご連絡ください。



♡ 心が洗われたーコマ

● 専門学校広報室 石黒 典男

去る7月10日、奈良県立T高等学校に広報活動で訪問したときのことです。この学校は、電車の踏切から4～50mを起点にうねった坂を300m上ると校門に達する、周囲が山々に囲まれた小高い丘に聳える風光明媚な所がありました。最初の出来事が坂にかかるころから始まりました。道を挟んで下校する女子生徒が、車に乗っている私に向かって、立ち止まりほぼ90度に深々とお辞儀をしてくれました。「なんだこの様子は」が強烈な第1印象でした。校門から300mも離れているところで挨拶する生徒に今までお目にかかったことがなかったからです。駐車場に向かう途中でも男女問わず生徒はお辞儀を、さらに歩いている途中でも「こんにちは」、「おはようございます」と挨拶とお辞儀をしてくれました。清々しさ、微笑みさを感じ、心が洗われる気持ちになりました。

進路指導担当の先生に、その様子をお話すると、「そうでは

たか、挨拶励行が実現できるまで丸5年かかりました。先生方が一致団結して地道に取り組んできた成果であると思っています。もちろん生徒同士、教員と生徒も挨拶はしていますよ。」と謙虚におっしゃいました。挨拶励行といっても簡単にできるものではありません。

人は年頃になってくると集団で生活し、助けあう仲間が欲しくなってきますが、同時に集団の一員であることや愛し愛されていることを認めあう欲求が出てまいります。さらに仲間ができると自分の才能や能力を認めて欲しくなり、その承認によって自分自身を認めようとするものです。挨拶は人が互いに認め合う行動でもあります。単に礼儀作法だけの問題ではありません。マスメディアでは連日のごとくいじめ・自殺問題を取り上げていますが、このT高等学校では、引きこもりも併せて一連の問題は発生しないであろうと感じた次第であります。

みどりの風 クリニック だより



スポーツリハビリ

みどりの風クリニック 院長 宮崎 義雄

クリニックはこれまでたくさんのスタッフに支えられてやってきましたが、開院当初からするとそのスタッフも少しずつ変わってきています。そしてこの9月にもリハビリテーション科に新しい理学療法士の先生をお迎えしました。お名前は岡野雅俊先生といいます。よろしくお願ひいたします。岡野先生はスポーツリハビリを専門にしておられます。経験も豊富で、すでにクリニックの一員として大変活躍してくれています。とにかく勉強熱心で、そのうちクリニックでの業績をいろいろな学会で報告してくれるものと楽しみにしています。

スポーツと言えば、先日プロ野球のドラフト会議がありました。スポーツ整形に携わってきた関係上、これまで手術や治療をしてきた選手が傷害を克服し、ドラフトからプロの世界へと進んでいきました。実はこの度のドラフトでもクリニックで治療をしてきた社会人選手が指名をうけました。元プロ野球選手として活躍した池上先生の卓越したリハビリの賜だったものと信じています。是非ともプロの世界で活躍していただきたいと思ひます。これからもスポーツ選手の傷害に対し、よりよい医療を提供してスポーツの現場に復帰してもらえようスタッフ一同頑張っていきたいと思ひます。

マイブーム

みどりの風クリニック 漢方内科 新谷 卓弘

「医者の不養生」といわれますが、私も御多分にもれず体重と体脂肪が増え続け、今年の6月にはとうとう92kg、体脂肪も20%を超えました(身長は185cmですが、立派な肥満体です)。また、血圧と中性脂肪も高く、メタボリック症候群にもなっていました。

そんな折、今年の6月に1年ぶりにお会いした方から「先生、太ったわね～」と指摘され、脳天に雷が落ちたようなショックを受け、糖質制限食(1972年頃ロバート・アトキンス氏が提唱した低炭水化物ダイエットがオリジナルで、現在は江部康二先生が発展させている)を試みるに至りました。

これまでカロリー制限や連日1時間の水中歩行など、数々のダイエットを試みましたが、なかなか達成できませんでした。ところが、この方法は糖質をかなり減らしますが、蛋白質と脂肪制限がなく(大豆、肉、魚は食べ放題)、日々実行できるようになり、現在(9月上旬)、体重83kg、体脂肪15%となり、降圧剤とフィブラート剤も廃棄することができました。

運動ができない忙しい方や蛋白質制限の必要のない方には是非お勧めいたします。「おやじダイエット部の奇跡」(桐山秀樹著、マガジンハウス)が参考になるでしょう。

みどりの風鍼灸院

ひとりごと①～おすすめの1冊～

みどりの風鍼灸院 鍼灸師 菊谷 敏士

私がみどりの風鍼灸院で治療をさせていただくようになり、3年目になりました。これまで色々な患者さまや先生方とのご縁があり、患者さまの体調管理のお手伝いをさせて頂いている中で、小児鍼の患者さんを診させて頂く機会が多くなってきました。ちょうどその頃、森ノ宮医療学園専門学校の尾崎朋文副校長より、「小児鍼に関する書籍の作成の手伝いを。」とお声をかけていただきました。

こう書くと、本の宣伝かと思われるかもしれませんが、ちょっと待ってくだ

さい。この内容が、なかなか充実した面白いものなのです。鍼灸師達による臨床話や小児鍼の歴史、医師による現代医学的観点からみた皮膚と身体の関係性、心理・教育学による身体と心の関係性やスキンシップの重要性、さらにはドイツ、アメリカでの小児鍼の現状など、多岐にわたり内容盛り沢山なのです。鍼灸学校生はもちろん、臨床家の方々にも納得していただけること間違い無しの1冊です。

『実践小児はり法 子どもの健やかな成長へのアプローチ』(医歯薬出版株式会社)好評発売中です。



森ノ宮医療大学 寄付金の募集について



平素は本学の大学運営並びに教育研究事業に格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。また、第1期寄付金募集期間におきましては、多くの方々よりたくさんのご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝の意を表します。

本学は平成19年4月の開学以来、地域医療を担う専門職医療人を育成する大学として教育・研究環境の整備に努めてまいりました。平成23年3月には、第一期生を無事世に送り出すとともに、同年4月には看護学科および大学院保健医療学研究科修士課程をスタートさせ、より多くの優秀な学生や気鋭の研究者が集う大学を目指してきました。さらに、平成24年4月から、鍼灸学科にスポーツ特修コースを設け、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)が取得できる教職課程の認定を受けることができました。このように、今後も引き続き臨床、研究、教育の分野で活躍できる人材を育成する大学として、施設や教育・研究機材の更なる整備が必要不可欠であると考えております。また、在学生や卒業生はもとより、広く地域社会からの要望に応え、より一層魅力あふれる存在意義の明確な大学として広く社会貢献に資するよう、教職員一同、懸命に努力を積み重ね、高度専門医療職業人の養成を柱として邁進していく所存です。

森ノ宮医療学園、森ノ宮医療大学は今後一層、社会の期待に応えてまいりたいと思ひます。そのためには皆さま方のご協力のもとに、継続的な環境整備と充実を続けていく必要があります。何とぞ寄付金募集の趣旨をご理解ください、今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、ご寄付いただいた皆様のご芳名は大学にて未長く顕彰させていただきます。

学校法人森ノ宮医療学園 理事長 森 俊豪

森ノ宮医療大学 学長 荻原 俊男

森ノ宮医療大学 施設・設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成24年7月1日～平成24年9月30日 お申込み分(敬称略)

温かいご支援(ご寄付)に心より感謝申し上げます。

校友会会員の皆様をはじめ保護者ならびに関係者の皆様より多くのご寄付を賜り、心より厚く御礼申し上げます。平成24年7月1日より平成24年9月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載し、感謝の意に代えさせていただきます。今後とも教育の一層の充実発展のために、引き続き多くの皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

- 個人 1万円 …… 水谷隆文(専・卒業生)※(2万円)
- 100万円 …… 阿野芳枝

総計101万円

● 寄付金累計状況(平成24年9月30日現在) (単位:円)

期 間	寄付金合計額
平成24年7月1日～平成24年9月30日	1,010,000
平成19年12月1日～平成24年9月30日	40,320,000

●ご芳名は、個人・法人に区分し、金額ごとに掲載いたしました。また2回以上のお申込みの場合は累計金額も掲載させていただきます。●個人のご寄付につきましては、森ノ宮医療学園の理事・監査を(役員)、非常勤講師を含む森ノ宮医療大学ならびに専門学校教員・職員を(教職員)、同じく在校生・卒業生・保護者を(専・卒業生)のように頭に専または大を付して表示しました。●法人のご寄付につきましては、申込書に記載の法人ならびに代表者名を記載しました。●複数回ご寄付いただいた方の累計額を表示しています。

お問い合わせ：森ノ宮医療大学法人本部／寄付金担当:清水・瀬川 e-mail: kifu@morinomiya-u.ac.jp